

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	急傾斜地崩 壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 2.0 億円
		急傾斜地崩壊対策事 業 <岡町地区>	姫路市 岡町		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
姫路市 岡町			H12年度	H16年度

事業目的		事業内容	
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危 険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の 生命及び病院を保護する。		急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 27.7 m H = 5 m	

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家40戸の他、災害弱者(橋本医院)及び、公民館がある 斜面は小規模な崩壊が発生するなど、危険な状態である。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 当該斜面は、姫路市の中心部に位置し、都市部の緑は城下町の景 観を構成するものであり、保全する効果は高い。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 姫路城の近くの斜面であり、城下町に適合した整備を行う。 小規模な崩壊が発生しているため、住民から要望が大きい。
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> 保全人家が42戸と多く、橋本病院、公民館が含まれ事業効果が 高い。 事業実施に向け、要望書がある。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 待受擁壁工は、化粧型枠を採用し、より自然に近い雰囲気にする。 また、ツタ等による緑化も検討する。 斜面脚部を固定することにより、良好な緑の斜面を保全できる。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 隣接した斜面は、H9年度まで急傾斜地崩壊対策工事を行って おり、同様な地質である当該斜面は、崩壊の危険性は高い。 保全対象に病院、公民館も含まれており内包する斜面の危険性を 考慮すれば、早急に防災対策を実施する必要がある。 地元住民の要望は大きく、事業執行体制は整っている。

評 価 の 結 果	着手妥当	左 の 理 由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-----------------------	------	------------------	----------------------